

RESPONSE RING

SPORT LINE

この度は弊社製品<RESPONSE RING>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はスロットルボディに装着し、吸気流速の向上によりエンジンレスポンスを高める目的に制作された製品です。*レスポンスリングは文中では<リング>と略して記載されています。
 本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。
お願い! 本製品は性能向上、適合追加他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

⚠️ 警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 作業はエンジンが十分に冷えた状態にて行って下さい。エンジンが高温の状態にて作業した場合、やけど等の危険があります。
- 取り付け後、エンジン不調等の障害が発生した時は、ただちに使用を止めて下さい。

⚠️ 注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

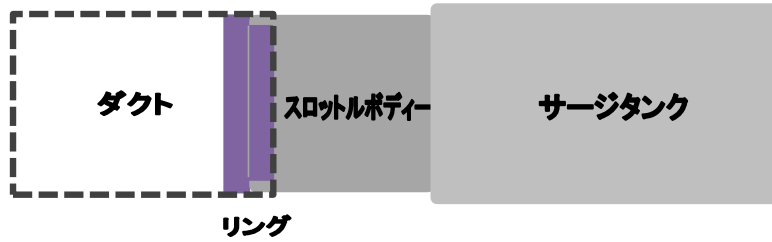
- ネジの締め忘れ、ダクトの適合の不具合がある場合は、エンジンが不調をきたす可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- ダクト内にネジ、ゴミ等が落下してしまった場合、エンジン破損の可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- 製品を加工もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

⚠️ 注意 ●リングの敷力所にアルマイト加工時の塗りむらがありますがキズ等ではございません。ご了承下さい。

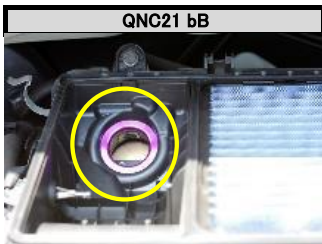
【取り付け方法】

⚠️ 注意 ●エンジン停止後すぐに作業をおこなうのは大変危険です。取り付けはエンジンが十分に冷えてからおこなって下さい。

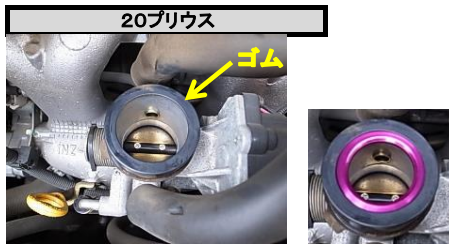
⚠️ 注意 <基本取り付け断面図> ●スロットルボディ取り付け、ピクスロットル装着車不可



- ⚠️ 注意**
- ①スロットルボディを確認しダクトを固定しているバンドを緩めて下さい。
 - ②ダクトを浮かせ、リングをセットして下さい。リングの径の小さい側がスロットルボディ側です。
* スロットルボディ内にネジ、ゴミを落下させぬよう細心の注意を払って作業をおこなって下さい。
 - ③取り外した手順と逆の手順にてダクトを取り付けて下さい。
* バンドのネジは適度なトルクで締めて下さい。



●スロットルにリングを装着すると緩い状態ですが、その上からクリーナー-BO>を被せることにより固定出来ます。



●スロットルに被せてあるゴムを一旦はずし、リング装着後に再度ゴムを被せて下さい。



●ダクトにつながっているホースを一旦はずしてからダクトを脱着し、リングを装着して下さい。



●画像を参考にインテークパイプのエンジン側にリングを装着して下さい(リングは付属のアルミテープにて固定して下さい)



* インテークパイプ側装着



●画像を参考にインテークパイプのエンジン側にリングを装着して下さい(リングは付属のアルミテープにて固定して下さい)

【オプションリング・アシストリングについて】

<オプションリング> 別売のオプションリングを選択することにより、ある程度のトルク特性を変更することが可能です。走行条件、好みにより最適なリングを選択し、走行をお楽しみ下さい。(適合表のオプションリング→特性の欄にて選択できるリングを選んで下さい)

<アシストリング> 標準リングとは別の場所に装着して、レスポンスリングの性能を全域で高めるリングです。特に加速時のスムーズさが増大します。取り付け位置は標準リングの装着位置により異なります。

【MINICON、MINICON PROの同時使用について】

●MINICON、MINICON PROとの同時使用はレスポンスリングの性能をさらに引き出します。是非使用されることを推奨致します。

【使用上の注意点】



- エンジンを始動させ、異音、不調等が発生した場合はすぐにエンジンを停止させて原因を解決してからリングを使用して下さい。

【類似品について】



- 本製品の制作にあたっては特許出願をおこなっています。特許に抵触する類似品等の使用は絶対に避けて下さい。違反品を装着使用された場合、お客様にご迷惑をかける場合が考えられます。

【トラブルチェック】

<リングとスロットルボディの勤合が緩いもしくは装着できない>

- ピックスロットルに変更されていませんか？スロットルボディが変更されている場合は標準タイプのリングは適合出来ません(200系ハイエース)

<リング装着による変化が感じられない>

- 車両がECOモードになっていると、レスポンスリングの効果が感じにくい場合があります。スポーツモードでの使用をお勧め致します。
- 数々のテストでは、アクセル開度約20～40%の一定走行時にノーマル状態より大きく効果が感じられるポイントがありました。走行しながら、変化の大きいポイントを確認してみてください。

<アイドリング不調><吹け上がらない>

- 車両カバーが確実に挿入されているか？確認して下さい
- ダクトが確実に挿入されているか？エア漏れがないか？確認して下さい。

<高回転がノーマルより伸びない>

- 本来レスポンスリングは低中回転域のエンジンレスポンスを向上させる目的で開発されました。高回転域を多用する状況(サーキット走行他)では一旦リングをはずすことをお勧め致します。

<エンジンチェックが点灯した場合>

- エアクリナーが詰まっている場合、O2センサーが異常と判断しエンジンチェックを点灯させる場合があります。エアクリナー周りの清掃及びエアクリナーの新品交換をおこなって下さい。
- ノーマル状態にて、(走行ーエンジン停止)の正常な状態を3回以上繰り返すとエンジンチェックは消灯する場合があります。もしくはカーディーラー等専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。